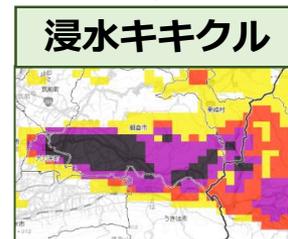
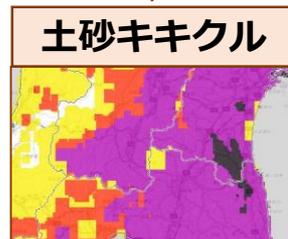


気象庁では、大雨による土砂災害、浸水害、洪水災害への警戒を呼び掛けるため、それぞれの危険度の高まりを5段階に色分けし、リアルタイムで地図上に示した災害危険度情報「キキクル」を提供しています。

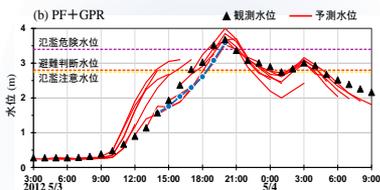
キキクルは、市町村が発令する避難指示や住民避難の判断に活用されるなど、なくてはならない重要な防災気象情報として社会に浸透しつつあります。

気象研究所では、キキクルの精度向上に向けた研究開発とともに、利活用促進に関する研究に取り組んでいます。



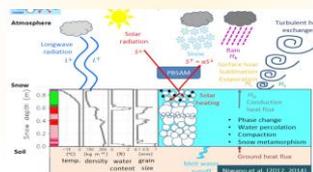
## キキクルの精度向上に向けた研究

### 水位データ同化



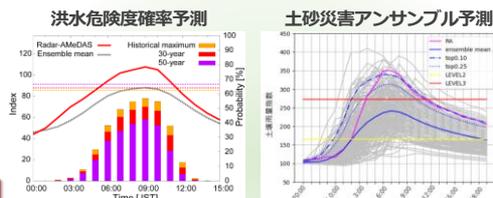
洪水キキクルの精度向上

### 積雪モデルの実装



融雪効果を反映

### アンサンブル危険度予測



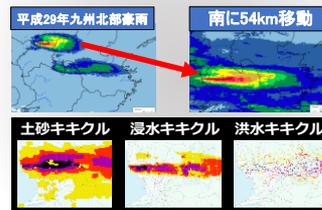
災害危険度の確率予測  
予測時間の延長

## 利活用促進に関する研究

### 気候変動の影響評価



### 防災訓練への活用



将来の気候変動下における災害対応の理解

シナリオベースからエビデンスベースへ